公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益社団法人　高知県森と緑の会	主管課名	林業環境政策課
役　割	地域の森林整備及び緑化の推進等に資する緑の募金事業及び森林整備等に関する事業の実施		
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	・　緑の募金活動の推進 ・　森林整備、緑化の推進 ・　森林環境税を活用した事業の実施

令和７年度までの取組実績	経営課題等
１　施設の管理・運営 平成17年度末まで、高知県立森林研修センター「情報交流館」、高知県立甫喜ヶ峰森林公園、高知県立月見山こどもの森の県立３施設の管理運営 ２　緑の募金活動及び募金の管理運営 募金の収集及び募金を活用した事業実施(直営事業、公募事業の実施) 〔「緑の募金」募金額実績〕 H26年度 12,278千円 H27年度 12,337千円 H28年度 11,413千円 H29年度 11,543千円 H30年度 10,170千円 R元年度 10,160千円 Ｒ２年度 9,201千円 Ｒ３年度 11,110千円 Ｒ４年度 11,113千円 Ｒ５年度 10,094千円 Ｒ６年度 10,462千円 Ｒ７年度 11,908千円 ３　緑と水の森林ファンド事業の実施 ・(公社)国土緑化推進機構の基金事業 ４　県補助事業の実施　(H19～　) ・こうち山の日推進事業 ・山の一日先生派遣事業 (※H25～こうち山の日推進事業へ統合) ・山の学習支援事業 ５　県委託事業の実施 ・ふるさと雇用再生森の窓口運営事業（H21-23) ・森林環境学習等推進事業委託料（R5～R7) ６　組織体制及び規則事務等の見直し（H17～H18) ７　公益社団法人への移行(H21.7.31) ８　国助成事業の実施（H25～　) ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金	１　会費収入の確保 市町村・森林組合の合併や不況の影響によって会員数が減ってきており、会費収入が減少してきている。当会の適正な運営のために新しい会員（賛助会員含む）の加入を促進する。 ２　緑の募金活動の強化 募金活動が低調な市町村への積極的な働きかけをしていくとともに、公益社団法人への移行に伴う寄附税制の優遇措置を最大限に活かしながら企業・団体等への協力の働きかけを強化していく。 森林環境教育（地域や社会教育）等を教育関係機関や社会教育団体等に働きかけ、学校募金等の協力を求める。 ３　PRの強化 様々な手段・機会をとらえて社団及び緑の募金の存在・意義・役割をPRしていく。

【令和8年度以降の取組方針】

１.効率的な事務局の運営に努め、法人の本来業務である「緑の募金」活動と(公社)国土緑化推進機構の基金事業の執行に重点を置いた取り組みを進めていきながら、新たな展開を探っていく。

２.高知市中心部という地理的優位性を活かしながら、当初の緑の募金法の理念や目的、制度の意義・役割を伝え、積極的に新規会員の参入を働きかけ、法人の財政基盤となる会費収入の拡大及び「緑の募金」収入拡大に引き続き努める。

３.県からの補助・委託事業の円滑な執行に努めるとともに、今年度も引き続き国の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の交付窓口等として、本県における森林の整備や緑化の推進に寄与する。

４.公益社団法人への移行（H21.7.31）に伴って、向上した社会的信用を最大限に活かして、県と連携しながら、森林整備や緑化の推進を通じて、県民の福祉の向上及び県勢の発展に積極的に寄与する。